

久留米

高専
通信

2007年秋号

[OCTOBER 20, 2007]

久留米工業高等専門学校企画主事室

〒830-8555 久留米市小森野1-1-1

TEL:0942-35-9300

<http://www.kurume-nct.ac.jp/>

「第13回高専シンポジウムin久留米」に参加を！

高専シンポジウム実行委員会

実行副委員長 中嶋 裕之

高専シンポジウムは、主に高専における学生の研究発表と討論の場を与えるため、久留米高専の鳥井昭美名誉教授が全国の高専に呼びかけて、1996年に第1回目を久留米で開催しました。回を追うごとに発展し、昨年沼津高専が主催した第12回高専シンポジウムでは参加33校、発表件数212件で、全国から200人の高専生及び120人の教職員が集いました。発表も、当初は物質系が大部分でしたが、最近では機械、電気、情報、環境等の他分野に拡大しています。

今年度、全国を一巡して「第13回高専シンポジウムin久留米」として発祥の地である本校に戻ってきました。そこで、二つのテーマ「からくり儀右衛門の精神に学ぶ高専テクノロジー」と「地域環境と食育」を設定し、これまでの研究発表に加えて、地域の皆様にも広く公開して高専のことをよく知ってもらおうとともに、地域連携について考える場を提供します。

具体的には、高専生が中学生や市民の皆様に分かりやすく研究内容を紹介する場、福岡県の3高専によるロボットコンテスト、地域企業等の最新技術展示、高専の社会的役割について考える特別講演会、地域環境と食育に関するシンポジウム等、多彩なイベントを企画しています。会期は平成20年（2008年）1月26日（土）・27日（日）、会場は久留米市の石橋文化センターです。

久留米高専の底力を発揮して、盛大なシンポジウムにしたいと思っています。専攻科や5年の学生諸君は、奮って研究発表してください。また、準備や運営にご協力をお願いします。保護者の皆様もぜひお越しください。

詳しいことは、下記のWebページをご覧ください。発表申込みや参加登録もこのページからできます。このページやポスターは校長先生のオリジナル作品です。

<http://www.kurume-nct.ac.jp/sympo/>

第13回
高専シンポジウム in 久留米
13th Kosen Symposium in Kurume
2008年1月26日(土)27日(日)

26日 一般講演 高専生による中学生・市民向け技術講演／特別講演
～からくり儀右衛門の精神に学ぶ高専テクノロジー～
27日 シンポジウム「地域環境と食育」、福岡県3高専ロボットコンテスト
26日・27日 中学生向け進路相談室、地域企業等最新技術展示、知的財産・特許相談室

主催 高専シンポジウム協議会 久留米工業高等専門学校 <http://www.kurume-nct.ac.jp/sympo/>
共催 久留米学術研究都市づくり推進協議会 日本化学会 日本化学会九州支会 日本工学会 九州工学会 九州教育協会 電気学会 応用物理学会
日本機械学会九州支部福岡県地区 電子情報通信学会 情報科学学会 化学工学学会 化学工学学会九州支部 日本農林化学会 日本生物工学会
日本ゴム協会九州支部 電気化学会 技術・教育研究懇話会 日本セラミックス協会 日本基礎協会 日本高専学会
後援 久留米市 久留米市教育委員会 (財)久留米観光コンベンション協会 福岡県文化協会 (株)久留米文化振興会
久留米高専後援会 久留米高専同窓会 久留米工業会

会場 久留米市 石橋文化センター
(財団法人 久留米文化振興会)

お問合せ 第13回 高専シンポジウム in 久留米 実行委員会 E-mail sympo@kurume-nct.ac.jp
830-8555 福岡県久留米市小森野1-1-1 久留米工業高等専門学校 総務課 TEL 0942-35-9300 FAX 0942-35-9307

第 4 4 回 九州沖縄地区高等専門学校体育大会
(全国高専体育大会出場権獲得)第 4 2 回 全国高等専門学校体育大会
(優れた成績を修めた人)

●陸上競技

男子 400m	4 E	坂本 昌照	2 位
男子 1500m	5 M	柳田 樹也	2 位
男子 5000m	5 M	柳田 樹也	3 位
男子走高跳	1 E	久積 慧	2 位
男子円盤投	3 A	浜武 真也	3 位
女子走幅跳	3 M	森光 博美	2 位

●陸上競技

男子 1500m	5 M	柳田 樹也	決勝 2 位
男子 5000m	5 M	柳田 樹也	決勝 5 位

●柔道

個人戦男子 90kg 級	3 E	浅田 陽次郎	優勝
--------------	-----	--------	----

●テニス

個人戦女子シングルス	4 M	仲 美鈴	2 位
------------	-----	------	-----

●水泳

男子自由形 100m	2 C	倉地 康平	決勝 5 位
男子背泳ぎ 100m	2 M	永尾 健太	決勝 6 位
男子フリーリレー	4 M	松木 康祐	決勝 7 位
	2 M	永尾 健太	
	2 M	碓井 龍一	
	2 C	倉地 康平	

●柔道

個人戦男子 90kg 級	3 E	浅田 陽次郎	2 位
--------------	-----	--------	-----

●水泳

男子背泳ぎ 100m	2 M	永尾 健太	3 位
男子背泳ぎ 200m	2 M	永尾 健太	2 位
男子自由形 100m	2 C	倉地 康平	2 位
男子個人メドレー	2 C	倉地 康平	2 位
男子フリーリレー			2 位

全国高専大会で優勝して

電気電子工学科 3 年 浅田 陽次郎

第 1 3 回 西日本地区高等専門学校空手道大会

男子個人組手	2 A	執行 健太	優勝
	5 E	山下 哲平	2 位
男子団体形			3 位
総合			2 位

今年の全国高専大会は愛媛県でありました。個人戦の 90kg 級という階級で優勝することができました。柔道部員と先生に感謝しています。柔道部の練習は一週間に 3～5 日ぐらいで、1 日 1 時間ぐらいです。部員が少ないので部員募集中です。今年の目標は次の全国大会の個人戦で優勝することですが、団体戦でも優勝目指して頑張りたいと思います。

第 1 4 回 全国高等専門学校将棋大会

個人戦	5 S	安武 翔太	準優勝
-----	-----	-------	-----



『走志走愛』

材料工学科5年 柳田 樹也

最後の全国は1500m2位,5000m5位だった。去年は1500m6位,5000mは出場すらできなかった。去年に比べれば成長したと思うが優勝するために練習してきたのだから少し悔しさも残る。けど自分が今まで挑戦してきたことなんかが中長距離ブロックの後輩達のために九州や全国で勝つための道標になればと思っている。

また,様々な人たちに色々な形で支えてもらった。特に日々の練習を支えてくれたマネージャーさん達や顧問の先生方には感謝している。そして滝澤先輩をはじめ佐世保の翔太郎さんや川原さん,豊岳,鹿兒島の盛重。彼らに勝ちたいからこそまで競技に打ち込む事ができたのだと思う。何より自分にとって活力になったのは憧れの三津谷佑選手にももらった『頑張って』の一言だった。まだ12月に駅伝が残っているし来年からは就職先の横浜で競技を続ける。

まだ長い競技人生になると思うが本当に走れなくなる日が来るまで走り続けたいと思う。



空手西日本大会優勝！

機械工学科2年 執行健太

今年の7月29日、長崎佐世保で西日本地区の高専大会が行われました。この大会には2回目の出場、去年の雪辱を晴らすべく気合いを入れて臨んだ大会でした。

相手のほとんどは年上、胸を借りるつもりで思いっきり飛び込んでいこうと考えていましたが、それが裏目に出たのか、いざ試合本番となると逆に熱くなり過ぎて1.2回戦と相手にポイントを取られがちでした。でも、トーナメント後半では先生・先輩のアドバイスもあり、冷静に相手の動きを見て戦うことができ、優勝することができました。こうやって優勝できたのも指導して下さった先生たちと練習をつけてくれた先輩たちのおかげです。五年生の先輩たちは引退してしまいましたが、また来年も優勝するため、欲を言えばV4を目指してこれからも練習に励んでいきたいと思います。



全国高専将棋大会に参加して

制御情報工学科5年 安武翔太

私は8月21～23日に静岡県の沼津で開催された第14回全国高専将棋大会に出場し、個人戦において準優勝という望外の成績を残しました。

出場できたことが奇跡でした。編入試験を優先するという理由から、今年はこの大会には出場しないつもりでいたのですが、主催高専に不参加の旨を伝えた数日後に、編入試験の日程が例年より早いことがわかったのです。それから急遽、顧問の高松先生に参加できるかどうかを問い合わせを頂き、どうにか参加できる運びとなりました。

将棋の内容も接戦が多く、非常に神経を消耗しました。膨大な知識と極度の集中を要求する将棋は、意外にハードな競技なのです。集中力を切らさなかったことが、この結果に繋がったのだと思います。

僥倖に恵まれた準優勝でした。協力して下さいました皆様、本当にありがとうございました。



4年生工場見学旅行

平成19年度の工場見学旅行が下記のスケジュールで実施されました。幸い、事故や大きなトラブルもなく、無事に終了することができました。

4年生諸君は最先端の技術や現場の技術を見聞して貴重な体験をすることができたと思います。自分の進路を決める際の参考になればと期待しています。

学科	旅行日	工場見学先	宿泊先
機械工学科	9月25日(火)	(株)日本航空機整備東京工場	河口湖 ホテル湖南荘
	9月26日(水)	山梨県忍野村・ファナック(株) 東芝機械(株) 沼津工場	箱根湯本ホテル
	9月27日(木)	日本精工(株) 藤沢工場、牧野フライス(株) 厚木事業所	大森東急イン
	9月28日(金)	東京都内自主研修	同上
	9月29日(土)	お台場、日本科学未来館	
電気電子工学科	9月25日(火)	三菱重工業(株) 名古屋航空宇宙システム製作所 小牧南工場	長島温泉リゾート ガーデンホテルオリーブ
	9月26日(水)	愛知高速交通(株) リニモ見学・試乗 (株)ヤマザキマザック美濃加茂製作所	ホテル東山閣
	9月27日(木)	金閣寺、嵐山、京都市内自主研修	同上
	9月28日(金)	ユニバーサルスタジオジャパン	箕面観光ホテル
	9月29日(土)	大阪市内自主研修	
制御情報工学科	9月25日(火)	N T T ドコモ R & D センター	ホテルニューグランド(新館タワー)
	9月26日(水)	N T T サイバーコミュニケーション総合研究所 日産自動車追浜工場、東芝科学館	グランドプリンスホテル(新高輪)
	9月27日(木)	東京都内自主研修	同上
	9月28日(金)	お台場・フジテレビ	
生物応用化学科	9月25日(火)	T O T O (株) 小倉第一工場、門司港レトロ地区	船中泊(名門大洋フェリー)
	9月26日(水)	不二製油(株) 堺工場、ダイキン工業(株) 淀川製作所	大阪ガーデンパレス
	9月27日(木)	大阪市内自主研修	大阪ガーデンパレス
	9月28日(金)	シャープ株式会社、平等院鳳凰堂、清水寺	船中泊(名門大洋フェリー)
	9月29日(土)		
材料工学科	9月25日(火)	日本航空(株) 羽田整備工場	ホテルニューグランド(新館タワー)
	9月26日(水)	日本精工(株) 藤沢工場、江の島 (株) I H I マリンユナイテッド横浜工場	同上
	9月27日(木)	新日本製鉄君津工場、お台場・フジテレビスタジオ、 日本科学未来館	グランドプリンスホテル(新高輪)
	9月28日(金)	東京都内自主研修	同上
	9月29日(土)	東芝科学館	

短期インターンシップ

短期インターンシップは、本科4年生の選択科目として設定しています。約2週間の短い期間ではありますが、今年度も125名の4年生が企業での実習を体験してきました。

日頃学んでいる専門知識が、実際の企業の現場でどのように活かされているのか。時間や規則を守る態度や言葉遣いなど、社会人として働くことの、よろこびや厳しさの一端を垣間見て帰ってきます。

機械工学科 (30社／36 名)	電気電子工学科 (25社／27 名)	制御情報工学科 (31社／34 名)	生物応用工学科 ((23社／35 名)	材料工学科 (25社／29 名)
日陽エンジニアリング	日本原子力発電	住友精化	機能樹脂研究所	三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所
森精機	カネカ	TOWA	福岡県工業技術センター	東洋鋼鋳下松工場
カネカ高砂	ダイキン工業	JALアビテック	環境科学センター	富士通サービス
リコー	サンリツオートメーション	三洋化成工業	福岡クロス工業	富士通川崎
三菱重工業	松下エコシステムズ	山田化学工業	大塚製薬佐賀工場	東亜石油
東日製作所	福岡酸素	安川電機	九州産業技術センター	東伸熱工
日立化成工業	旭化成	モリタ製作所	三井化学	日立化成工業
関西グリコ	大日本インキ化学工業	京セラ川内工場	旭化成	ブリジストン久留米工場
大日精化	電源開発	コマツ大阪工場	テクノ月星	日鉱金属
NSK九州	日信電子サービス	メック	旭化成	東燃ゼネラル
京セラ	中部電力	旭化成	艶金興業	富士通九州システムエンジニアリング
カンフジ	NHK福岡放送局	総合警備保障	環境科学センター	TOTO小倉
ツカサ電工	日立化成工業	チクシ電気	ダイキン工業淀川製作所	東プレ田主丸
牧野フライス	パナソニックコミュニケーションズ	ブラザー工業	久留米リサーチパーク	三井ハイテック
パナソニックエレクトロニックデバイス	NECマイクロシステム	NECマイクロシステム	産業技術総合研究所	DOWA
コマツ 大阪工場	ブリヂストン久留米工場	三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所	塩野義製薬	京セラ川内工場
ユニチカ	JSR四日市工場	インフォグラム	三井デュボンフロロケミカル	コスモ石油堺製油所
佐賀鉄工	トクヤマ	シマノ	武田製薬	産業技術総研 鳥栖
三菱化学エンジニアリング	九州電力	ノリタケ伊勢電子工業	東レリサーチセンター	中興化成工業松浦工場
JR九州	三洋化成工業	日陽エンジニアリング	中外製薬浮間工場	佐賀鉄工所
JALアビテック	東芝メディカルシステムズ	リコー沼津事業所	竹本油脂株式会社	積水武蔵化工
日鐵プラント設計	松下電工久留米工場	チクシ電気	積水武蔵化工	高周波熱錬赤穂工場
IHIマリーンユナイテッド	ヤクルト佐賀工場	三菱重工業高砂製作所	中外製薬鎌倉工場	磯部鉄工小倉工場
塩野義製薬	宇部興産	中外製薬工業		旭化成
名村造船		福岡県工業技術センター		三菱重工高砂
トクヤマ		富士電機システムズ		
倉敷ボーリング		アイシン精機		
富士テクノソリューションズ		サンコー		
極東石油		富士通株式会社川崎工場		
富士電機システムズ		アルス・リサーチ・システム		
		旭テクネイオン		

専攻科インターンシップ

専攻科インターンシップは、本学科と専攻科で学んだ工学的知識や技術が、実践的にどの程度応用できるかを、企業や研究所での研修で経験し、実践的技術者としての資質を高めることを目的としています。

専攻科2年生の必修科目で、今年度も37人が右表に示す受け入れ先で、10月中旬～2月初旬まで2ヶ月から4ヶ月の長期の研修を受けます。来年2月には、受け入れ先企業の方々も参加して頂き報告会を開催します。

専攻科 (27社・38名)	受入数	所在地
(株) オーレック	2	八女郡
(株) インフォグラム	3	福岡市
システムラボラトリー (株)	1	久留米市
(株) ノリタケスーパーアブレーション	2	久留米市
(株) ワイビーエム	1	久留米市
(株) 栄電社	2	久留米市
(株) ワキタハイテクス	2	筑紫野市
(株) ロジックリサーチ	2	福岡市
(株) 牧野フライス	1	神奈川県愛甲郡
(株) アルス・リサーチ・システム	1	福岡市
(株) カネカ	1	兵庫県高砂市
アイスマン (株)	1	久留米市
第一施設工業 (株)	1	粕屋郡
オガワ機工 (株)	1	久留米市
(株) ケンコントロールズ	1	久留米市
TDK (株) 三隈川工場	1	大分県日田市
エコー電子工業 (株)	1	鳥栖市
生物食品研究所	3	久留米市
(有) 共栄資源管理センター	2	小郡郡
(株) 日本生物製剤	1	久留米市
田口電機工業 (株)	1	三養基郡
高周波熱錬 (株)	1	神奈川県平塚市
ビジョンバイオ (株)	2	久留米市
産業技術研究所	1	鳥栖市
艶金興業 (株)	1	愛知県一宮市
昭栄化学工業 (株)	1	鳥栖市
大電 (株)	1	久留米市

学校説明会・見学会

今年度も下記の日程で学校説明会、学校見学会が実施されました。説明会では、高専での勉強・生活、各専門学科の紹介、就職・進学状況、入試情報などについて説明があった後、中学生、保護者の皆さんからの質問に本校の教員が詳しく答えていました。

見学会では、教室や施設が開放され、また各専門学科ではコンピュータを用いたデモや興味深い実験などが公開されました。

中には、実験の説明を手伝っている本校の学生に「学校の実像」を熱心に聞いておられる保護者と中学生の姿もありました。

■学校説明会

地区 佐賀	日 時	会 場
	9月29日(土) 14時～	商工会議所(県庁前) 地下会議室
福岡	10月6日(土) 14時～	天神ビル11階 9号会議室
久留米	10月20日(土) 13時～	久留米高専 第一体育館

■学校見学会

久留米	10月20日(土) 14時～	久留米高専 教室、施設、実験などを見学
-----	----------------	------------------------



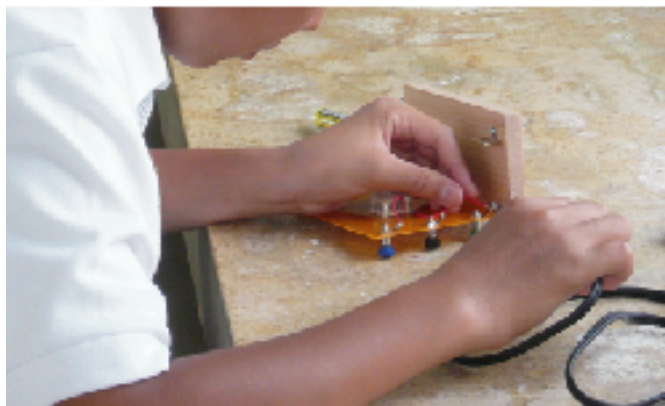
中学生向け公開講座

「あなたも一日サイエンティスト」の実施

一般理科 准教授 越地尚宏

7月26日(木)、27日(金)の二日間にかけて、中学生1、2年生を対象とした公開講座「あなたも一日サイエンティスト」を一般理科の主催で実施しました。

近隣の中学校から9名の中学生の参加があり、「物理コース」と「化学コース」の2つのテーマを2日にわたって実施しました。化学コースでは銀鏡反応や炎色反応など、美しい色の炎や試験管の中に銀色に輝く鏡ができる不思議な反応に驚きの声を上げながら熱心に実験に取り組んでいました。物理コースではコンデンサーとダイオード、そして手巻きのコイルだけで作る「電池のいないラジオ」を製作し、コイルを巻く作業やはんだづけ作業に悪戦苦闘しながらラジオを完成させることができました。

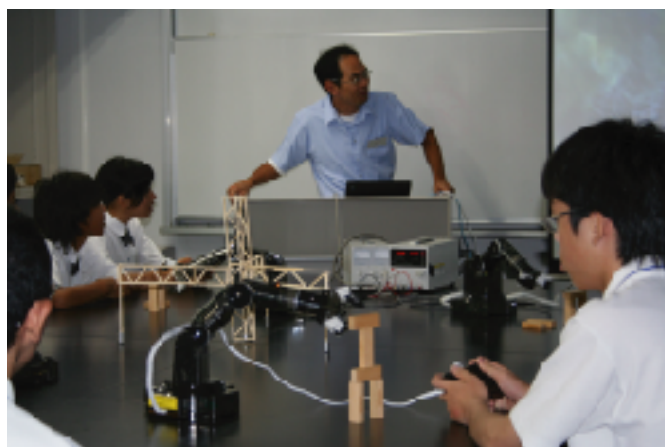


中学生向け体験セミナー

8月21日(火)、22日(水)の2日間、平成19年度の中学生向けの体験セミナーを開催しました。今年は定員400名に対して多数の参加申し込みがあり、470名の中学生が参加しました。

21日は234名、22日は236名の中学生が機械工学科、電気電子工学科、制御情報工学科、生物応用化学科、材料工学科の5つの専門学科の模擬授業(学科紹介を含む)を45分ずつ受講しました。

中学生にはハードなスケジュールであったにもかかわらず、アンケート結果を見ると「面白かった」「各学科のことがわかった」「久留米高専に入学したい」などといった好意的な意見が多く、好評でした。



新任者の紹介



山本 哲也(やまもと てつや)

職名 電気電子工学科 助教

(平成19年10月1日付け)

前職 近畿大学大学院

産業技術研究科 博士後期課程

抱負 未だ若輩者で力も経験も十分ではありませんが、学生第一で教育と研究に頑張っていきたいと思っております。宜しくお願いいたします。

趣味 釣り、ボウリング



松島 宏典(まつしま こうすけ)

職名 制御情報工学科 助教

(平成19年10月1日付け)

前職 八代高専

情報電子工学科 助教

抱負 色々ご迷惑をお掛けするかと思いますが、宜しくお願いいたします。

趣味 スポーツ観戦



酒見 史博(さけみ ふみひろ)

職名 学生課 学生課長

(平成19年7月15日付け)

前職 九州大学 情報システム部

情報企画課情報企画係長

抱負 初めての高専勤務で不慣れな面も多く、皆様方にはご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

筑後河川敷のすばらしい景色を見ながら、努力していきたいと思っています。

趣味 恥ずかしながら特にありません。ただ、最近、通勤のバスから見る久留米大学の松の枝ぶりに興味を引かれています。

久留米工業高等専門学校校長 前田三男

科学技術は人類に幸福をもたらすか？

科学技術の進歩によって我々の生活は快適になり、色々な面で便利になったことは喜ばしいことです。しかし反面、科学技術が人間生活を脅かしはしないかという危惧が常にありました。そういった危惧は相当昔から芽生えていたようで、例えば以前にこのコラムで紹介したサイレント時代のSF映画「メトロポリス（1926）」においてすら、既に近代都市が生み出す非人間的な労働がテーマとして採り上げられています。科学技術の発達を風刺した映画では、チャールズ・チャップリンの「モダン・タイムス（1936）」が有名で、これは皆さんもご覧になっていると思います。この中に登場する流れ作業の風刺場面は、1931年にルネ・クレールが作ったコメディ「自由を我等に」で、既にその原型がそっくり出てきます。このように20世紀の当初から、テクノロジーの進歩がもたらす負の側面は多くの人々に危惧を与えてきました。その後、テクノロジーはますます発展して、人間の生活や社会構造までも大きく変えました。それと同時に、冷戦時代の核兵器開発競争や、地球資源、地球環境問題の提起などを経て、社会的に科学技術そのものに対する不信感が生じています。

といっても技術の進歩を止めることはだれもできません。日本全体が「科学技術立国」をめざし、高専もその重要な一翼を担っている以上、学生諸君も社会に出たら技術者として科学技術の進歩に貢献することを求められるわけです。技術者としては自分のやる仕事には社会的な責任があり、テクノロジーの負の側面についても十分な認識を持つ必要があるかと思います。今回は少し難しい話になりますが、技術者にとってはやっかいなこの種の問題について、少し基本的なことを考察してみましょう。

テクノロジーの進歩と生物の進化

テクノロジーというのは、人間のある能力を拡大するための手段です。たとえば、素手で喧嘩をすると、力が強い方が勝ちます。そこで負けた方は棒とか刀みたいな道具を持ち出して、自分の攻撃能力を高めます。そうすると次には、弓矢や鉄砲のように遠くから相手を殺傷できる道具が考え出されます。個人の喧嘩ならともかく、戦争となると、負けた方の民族は滅亡の危機にさらされますから、必死です。これまでの人類の歴史を見ても、戦争ほどテクノロジーの発展に寄与したものはありません。そして最終的には、水爆を積んだ長距離ミサイルにまで発展しました。

もう一つの例として、最近人間の能力を飛躍的に高めたコンピューター技術を考えてみましょう。武器の価値は、その殺傷能力の高さで測られるのに対して、コンピューターは商品なので、その商品価値は計算速度、記憶容量、サイズ、値段の安さなどいくつかの尺度で測られます。それらの性能が良好なもののほどよく売れるので、技術者はその改善に必死になるわけです。これらの例から分かることは、テクノロジーは本質的に競争によって進歩してゆく性格を持っているということです。ある指標に対して計量できる数値目標が与えられると、技術者は頑張って競い合い、どんどん進歩してゆくことは、最近のコンピューターの急激な進歩を見ると明らかです。

このようなテクノロジーの発展過程は、生物の進化とよく似たところがあります。19世紀の半ばに生まれたダーウィンの進化論ほど、その後の思想、歴史観に大きな影響を与えたものはありません。適者生存の競争原理によって、より高度の資質を獲得したものが生き残るというメカニズムは、テクノロジーの発展過程とまったく同じものです。そうすると最近のデジタルカメラのピクセル競争みたいに、不必要なほど性能が上がっても止まらないといった現象も起きますが、これは生物の進化の場合にも時折見かけられます。

ただ、種の進化はそんなに単純には進みません。弁証法というのをご存じでしょうか。これは19世紀の初め頃、ヘーゲルという人が物事の発展の過程を理解する手段として持ち出してきたもので、「一般に物事が進展してゆく場合には、それと対立するものが現れて、両者が競合する間に、それより次元の高いものが生まれる」という考え方です。確かに、歴史の流れにも、生物の進化にも、またテクノロジーの発展にも、そのようなモデルがよく当てはまる事実にはしばしば出くわします。進化論と弁証法の思想を基礎にして、20世紀になると、世の中は常に進歩し続けるという、「進歩」に対する「信仰」のようなものが生まれました。



社会の進歩を否定する構造主義

私が大学生だった1960年代には、マルクス主義とサルトルの実存主義が特に若い人たちに絶大な人気がある思想でした。進化論と弁証法に基づき、古代、中世、近世と人間社会はしだいに進歩したという基本的な歴史観は、両者に共通したのですが、マルクス主義的な唯物史観は、社会経済の歴史的発展を、ちょうど自然科学における法則のような必然性で説明するのに対して、サルトルは歴史における「人間の主体性」を強調しました。つまり人間の知恵で社会は自由に変えられると主張するのです。

「進化」と「進歩」は本来別のものですが、いつの間にか混同され、「人間は一番進歩した動物である」、「現代は一番進歩した社会である」、さらにあからさまに言えば「西洋は一番進歩した文明である」といった優越感が生まれました。近代思想、とりわけサルトルの实在論が内包するそういった「人間中心主義」「西洋中心主義」を、1960年代に真っ向から非難した人がいます。フランスのレヴィ＝ストロースという人です。レヴィ＝ストロースは、南米の先住民の神話や姻戚関係などを研究した文化人類学者でしたが、サルトルとの論争はいろいろな分野の専門家の注目を引き、構造主義と呼ばれる新しい思想体系に発展しました。

サルトルは「弁証法的に発展してゆく歴史の中で、人間一人ひとりが自由な考えを持ち、主体的に歴史に参加してゆくことで、より発展した社会を築くべきだ」というヒューマニスティックで建設的な思想を打ち出して、若い人の心を捉え鼓舞してきました。ところがレヴィ＝ストロースは、人間は社会の枠の中で「主体的な自由」など持ち得ないと主張します。社会システムは時代や地域が変わると変化しますが、そういった表層の変化を越えて、すべての社会における人間の考え方や行動を規制する目に見えない枠組みを「構造」と呼び、それを探求するのが構造主義です。

レヴィ＝ストロースが言う「構造」の概念は、なかなか難解なものです。その頃登場した「構造言語学」に大きな影響を受けて成立した思想なので、「言語」と「社会」とを対応させると、彼が主張する「構造」の意味が少し分かりやすくなるでしょう。「言語」には地域によってたくさんの種類があり、時代と共に変化します。メッセージを伝える手段という機能はみな同じですが、実際には違った言語間ではうまく意思の疎通ができません。従来の比較言語学は言語間の「差異」を研究するものでしたが、構造言語学は逆にすべての言語に共通する不変の「構造」を探求しました。レヴィ＝ストロースによれば、社会システムの差異は、言語の差異と同様に、基本となる「構造」が時代や地域によって変化して表層に現れたものに過ぎないというわけです。

マルクスもサルトルも、社会は時代と共に弁証法的に発展するものと考えました。それに対して構造主義は社会の進歩を否定します。西洋史を眺めると、古代ギリシャ・ローマの人たちは随分進んだ考え方をしていたのに、中世の人たちはキリスト教の因習にとらわれて、停滞したような感想を抱きますが、中世は劣った時代というわけではなく、現代と価値観が違うので分かりにくいというだけです。構造主義では、未開社会と文明社会の間にはシステムの「差異」はあっても、同じ構造から生まれたものなので、「上下関係」はないと主張します。日本語と英語の間には「差異」はあっても、「上下関係」はないのと同じです。

かつての米ソ間冷戦は、近代という同じ社会システムの中で起こった競合ですが、最近のアラブ問題は、システムの違う社会の間の軋轢なので、お互いに理解が困難なのでしょう。産業革命以後の近代社会は、進化論の影響もあって、「進歩」に対して「信仰」に近い価値を置き、その進歩を推進するテクノロジーが重要な地位を獲得しました。現代社会がテクノロジーに大きな価値を置くとすれば、学生諸君が技術者として社会に出たあとも、活躍の場はおおいに保証されています。そのかわり、常に進歩することがテクノロジーの本質だとすれば、絶え間ない発展の渦から抜け出すことは容易でないでしょう。構造主義は、そういった発展至上主義を超越した観点から、社会の変遷を見直したもので、その点で、次の社会を築く人たちに示唆を与えてくれるかもしれません。

この短いスペースで構造主義の詳細を書くのは無理なので、もし興味を持たれたらその種の解説書を読んでごらんください。最近久留米高専の公式ホームページに「校長のひとりごと」というエッセイコラムを立ち上げて、これまでこの高専通信などに書いた文章を収録していますが、今回書き足りなかった参考文献などの補足はそちらでいたします。なお「校長のひとりごと」へは、「校長挨拶」のページから行けます。



現代 GP について

産学民連携推進センター長 伊藤義文

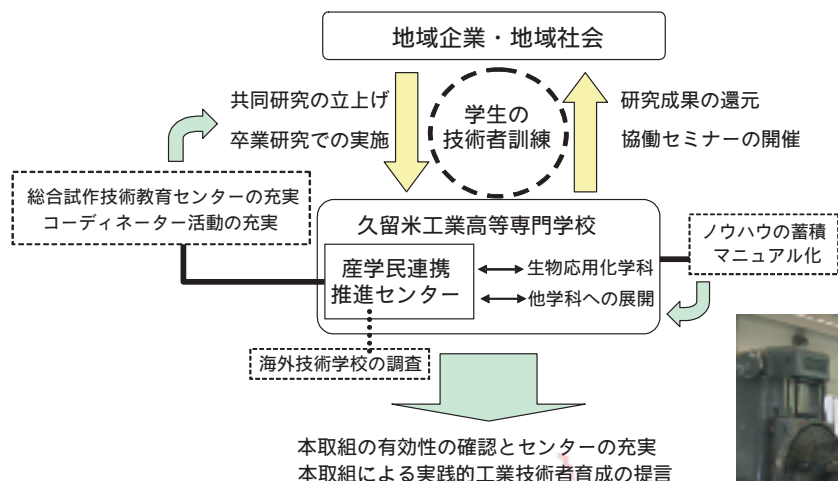
文部科学省では、「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代 GP）」を実施しています。これは、社会的な要請の強い政策課題に対応したテーマ設定を行い、そのテーマに対して各大学等から申請された取組の中から特に優れた教育プロジェクトを選定し、財政支援を行うことで、高等教育の更なる活性化を図るものです。

平成 19 年度に設定されたテーマは 1) 地域活性化への貢献（地元型）2) 地域活性化への貢献（広域型）3) 知的財産・コンテンツ関連教育の推進 4) 持続可能な社会につながる環境教育の推進 5) 実践的総合キャリア教育の推進 6) 教育効果向上のための ICT 活用教育の推進の 6 項目です。これに対する本年度の申請件数は大学 86 件、短大 26 件、高専 14 件であり、採択件数は大学 18 件、短大 4 件、高専 4 件でした。

高専 4 件の中の一つとして、久留米高専が申請していた、「産学民連携共同教育による実践的技術者育成」（副題：地域企業・社会との共同研究による地域活性化貢献と技術者教育の融合）が「地域活性化への貢献（地元型）」に採択されました。

概要：本取り組みは、地域社会と連携して共同教育を行い、21 世紀の日本の工業を担う「個別の専門知識等を融合複合化して使いこなし、社会のニーズに対して新しい技術を工夫できる実践的工業技術者」を育成する試みであって、① 地域企業（製造業）と連携して問題解決型の共同研究テーマを設定し、② 公立研究機関と連携してナノテクノロジー分野の最先端テーマを設定し、③ 久留米市と連携して近隣の弥生遺跡のルーツを人骨の DNA 解析により探っていくテーマを設定し、久留米高専生物応用化学科の正規カリキュラムである卒業研究として実施していく。卒業研究指導教員の 1 年間にわたるきめ細かい指導の下に、研究開発の P D C A のサイクルを回していくトレーニングを行い、学生を実践的工業技術者として育成するとともに、地域企業ならびに地域社会へ貢献する。

本プロジェクトを通して、よりよい技術者教育を実施していきたいと考えていますので、学生諸君、学内外の皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。



経済産業省委託「中核人材育成事業」に対する本校の貢献

機械工学科 櫻木 功

最近の企業では、継承すべき技術・ノウハウを持った「団塊の世代」が定年を迎え、それらが次世代の技術者に伝承されていないことが大きな問題となっており、技術・ノウハウの伝承の強化が緊急の課題となっております。

企業のこのような要望に応えるために、経済産業省の委託を受けて、九州大学を中心として全国の大学、企業が共同して大学院レベルの再教育を行う「中核人材育成センター」プロジェクトが進められており、本校もこのプロジェクトに参加しています。このプロジェクトの教育カリキュラムには、スーパー中核人材育成コース、専門中核人材育成コース（溶接設計・歯車製造・粉体加工）がありますが、後者の歯車製造コースの一部は本校が担当しており、本校で長年研究されてきた歯切り法、ハイスホブ切り、超硬ホブ切り、歯車測定等を講習しています。

本校は全国から参加した受講者に歯車加工に関する技術、ノウハウを、実習を通して的確に伝授し、わが国の歯車加工技術の向上に貢献しています。

